



広報

イキシア

2023年9月

93号

イキシアには「団結して事にあたる」という花言葉があります。やっと思いを集めるようになったこの精神保健の分野に理想の福祉を実現する為にあなたの知恵と力をお貸しください。

『ワナーホームの役割』

理事長 寺田 一郎

すくすくハウスの竣工

昨年七月に着工したすくすくハウス（柏市高田）がこの六月に竣工し、七月十五日にその開所式が行われました（別掲）。工事規模はこれまでのワナーホームの中でも最大となりましたが、実に多くの人たちに、様々な方法で支えられて、この日を迎えました。小売店や飲食店に置かれた募金箱、クラウドファンディング、寄付金付き食パン販売等々。そのことを通しても、地域の方々の期待の大きさを肌で実感しました。ご協力頂いた皆様に、改めて感謝申し上げます。

ワナーホームの原点

前号で「ルポ死亡退院く精神医療、闇の実態」(NHK二〇二三年二月二十五日)を取り上げました。ここでは医療者による患者の虐待がありました。それはまた貧困な社会の受け入れ態勢、家族、医療者、行政などの問題を浮き彫りにしました。また、「ドキュメント精神科

病院×新型コロナ」(E TV特集二〇二一年七月三十一日放送)では、新型コロナが炙り出した精神医療の実態が伝えられました。精神科病院で新型コロナウイルスに感染した患者さんたちが治療も受けられずに大部屋に隔離されていました。

どちらもNHKが意欲的に継続している精神障害者の人権侵害に対する調査報道です。

厚生労働省の「患者調査（平成二十九年）」によると精神疾患を有する総患者数は約四一九万人でこの内精神病床における入院患者数は三十三万人です。一九八六年のホレブ寮開設当時は約三十四万人でした。

その間、精神衛生法が改正され精神保健法として施行されたのが一九八八年。この改正の柱は、精神障害者の人権擁護と退院促進でした。これがワナーホームの原点でした。

この法改正によって精神障害者への生活支援が福祉事業として始めて制度化されました。さらに一九九五年に発表された障害者プランでは、精

神障害者の社会復帰、障害者の総合的な相談・生活支援を地域で実施する事業を、概ね人口三〇万人当たり、それぞれ二か所ずつ実施する、と数値目標が示されていました。そして二〇〇六年には障害者自立支援法（現在の障害者総合支援法）が施行されました。これらの施策によって我が国の障害者福祉は施設福祉から地域福祉へ大きく舵を切りました。精神障害者而言えば、入院患者が少なくても十万人から十五万人少なくなる筈でした。しかし、入院患者はあまり減っていません。

障害者総合支援法は障害者福祉に大きな変化を与えました。その一つは障害の種別に係わらず同じ福祉制度で地域での生活を支えるということです。事業所の実態も多様化しました。

ワナーホームのこれから
ここでワナーホームの事業展開を俯瞰すると、東葛工芸センターからホレブ寮までの精神衛生法による創業期、次に社会福祉法人格を取得して精神保健福祉法による活動を中心とした時期、そして障害者総合支援法に準拠して、いる現在、というように分けられます。ワナーホームでも他の障害を持つ方々を受け入れるようになりましたが、精神障害を中心とする事業展開に変わりはありません。

しかし、柏拠点の展開がワナーホームの事業体系を大きく変えつつあります。柏拠点のスタートは二〇〇六年のたんぼぼセンターですが、二〇一三年に「放課後等デイサービスすくすく」が開所しました。その対象者は医療的ケアを必要としている児童でした。その活動が「すくすくハウス」に繋がっています。すくすくハウスの事業が開始されることにより柏拠点は配置職員数、予算規模から見ても法人内で大きなウエイトを占めるようになります。

すくすくハウスによってワナーホームに新しい役割が与えられたことは確かですが、これまでの活動で培ってきた運営ノウハウや法人組織のスケールメリットを生かすことができるかどうか。活動範囲が大きく拡大しましたが、職員がそれぞれの役割を確実にかつ主体的に遂行しながら地域のニーズにどれだけ応えられるのか、それがワナーホームのこれからを方向付ける鍵になる、と考えています。

柏拠点 台風二号の影響音【水害↓復興】

水害

台風二号の大雨により、柏拠点（柏下）の事業所が床上浸水の被害を受けました。被災時は茫然とすることばかりでしたが、復旧活動の中で地域・関係者の皆様に支えて頂きました。本当に心強く、感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。ここで、被災当日から復旧までの動きを振り返ります。

六月二日（金）エクラスGHには二名の利用者がおり、大雨予報を受けて事業所の入り口は土嚢を積んで対策をしていました。日中から雨は降り続いていましたが、夜間も定期的な見回りで異常がないことを確認してました。しかし、三日深夜0時十分の見回りでは敷地内水たまりが大きく広がっている様子を確認、深夜0時三十分になると急に雨足が強まり、まず敷地入口の前の道路が冠水、敷地外への避難が困難になりました。消防署へ連絡しポンプ車を要請。その間も徐々に敷地内全体に水が溜まり、とうとう事業所内にも水が入り込んで

ました。そして、排水管の逆流も起きてあつという間に事業所内は床上四十センチ程度にまで浸水。途中応援に来てくれた職員達と共に、消防到着まで利用者の安全を確保しつつ浸水被害を最小限にするための対応に努めました。深夜二時二十分柏拠点のある手賀沼地域に避難指示命令が発令。ポンプ車到着後、消防隊と協力し、救命ボートも活用して敷地外の安全な場所へ利用者の避難誘導を行いました。

その後、利用者二名は自宅まで職員が付き添い、無事帰宅することができました。既に時間は五時。朝は、通所予定の利用者に一人一人連絡を入れて閉所を伝えました。午後、柏市内は晴天。ただ、敷地内や付近一帯の道路に溜まった水は全く引いておらず。日頃お世話になつていいる飯塚農園様にポンプをお借りし、排水作業を開始し、また、柏市役所職員の方々も急遽応援に駆けつけてくれました。四日（日）以降は、職員総出で懸命に作業に当たり、各事業所は一時的に運営場所を変えて（すく

すくハウス、ルミエール北柏等）、事業を最速で再開させることができました。



復興

二〇一三年十月に浸水被害を受けて以降、これまで柏拠点は何度も浸水の危機に見舞われ、乗り越えてきました。ただ、いつしか「今回も大丈夫だろう」と危機意識が低くなっていったように思えます。また、今回の災害で見えてきた課題も多々浮き彫りになりました。今回の災害被害を教訓に、BCP計画にも反映させていきます。

災害復旧活動の中で、広島建設様から活動場所としてテナントを無償でお貸しいただき、PASIBLE柏ではクラウドファンディングを立ち上げ、四百七十九名の方々からご支援いただきました（支援総額四、三二五、〇〇〇円）。そして、利用者ご家族の方々、関係者の皆様から事業再開を望む、温かい言葉もたくさん頂戴しました。この御恩は、今後の我々の活動で皆様に恩返しをさせて頂きます。これからの柏拠点の復興にご期待ください。



NEXT GOALを達成しました！
みなさまの温かいご支援に心から感謝いたします。

PAISIBLE柏—水害被害に見舞われたベーカリーの復興にご支援ください。

目標金額	4,315,000円
募金額	1,000,000円
クラウドファンディング	479人
終了しました	

2023年7月18日現在
PAISIBLE柏の復興にご支援を
お願いいたします。



医療的ケア対応複合施設 「すくすくハウス」完成!



放課後等デイサービスすくすくに通う子どもたちが、高校を卒業した後に通う場がないという課題を解決するため、二〇二〇年春、医療的ケアを必要としても、重い障害があっても安心して働き暮らせる未来を創る「すくすくハウス」プロジェクトははじまりました。ペジュール柏のみなさんがつくってくれた募金箱を地域のお店においていただくことから始まり、地域のクラフトビル屋さん（粕ビール）や農家さん（飯塚農園）と一緒にチャリティイベントをさせていただいたり、ロータリークラブや商工会議所などのご紹介で企業寄付をお願いに回りました。

最初は、医療的ケアという言葉が、話を聞いてくださる中で、感じられる方も多くいました。理解を示して下さったり、お知り合いを紹介して下さったりとつながりが広がっていきました。そして、思いもよらないほど大きな事業用地をご紹介いただき、プロジェクトは具体的になっていきました。

ただ、行き場のない彼らの居場所をつくるだけでなく、みんなが安心して働き暮らせる未来をつくる！自然豊かな環境に、夢のように広い用地と出会えたおかげで、地域を意識し、未来

施設整備の概要	
名称	医療的ケア対応複合施設「すくすくハウス」
建設地	千葉県柏市高田 174
敷地面積	6,539.03 m ²
延面積	2,347.67 m ²
構造	鉄骨造
着工	令和4年7月1日
竣工	令和5年6月30日

事業の概要	
生活介護	就労継続支援 B 型 児童発達支援（おもに重心） 放課後等デイサービス（おもに重心） 福祉型短期入所 居宅介護 訪問看護

をつくるための取り組みを具体的に思い描けるようになりまし
た。このプロセスを通じて、地
域で支ええられて生きるとい
うこと、ハード面での整備だけ
でなく、関係性を育んでいくこ
とがなにより大切なんだと改め
て教えていただいたように思い
ます。ハウスの完成は新たなス
タートです。みなさんの想いの
つまったハウスを大切に、これ
からかかわってくださる利用者
やご家族、スタッフ、地域の方々
みんな、ここから未来を紡い
でまいります。ワナーホーム
の歩みを見守り、応援してくだ
さっているみなさま、本事業に
携わってくださっているすべて
のみなさまに、すくすくハウス
完成のご報告と合わせ、心より
感謝申し上げます。ありがとう
ございました。

新型コロナウイルスが5類になり できることが増えました。

《千葉拠点》

四方田

千葉拠点におけるコロナ感染症対策の変更事項は、可能な限り制限を解除する方向で検討した。【ワークショップ鎌取】5月12日以降、毎日実施していた朝夕の検温は朝のみ、利用者のマスク着用、手指消毒および換気は当面継続とし、職員も同様とした。朝礼(食堂)および夕礼(ホール)は一か所で実施している。受注作業室に設置していたパーテーションは一部を除き撤去したが、利用者の多くが公共交通機関を利用していることもあり、当面は維持している。また、環境整備班については、除草など外作業ということ、夏場の作業であることを考慮し、マスクの着用は臨機応変で対応している。【フジエール】5月12日以降、入居者の検温は朝のみとし、マスク着用、手指消毒および換気は同様に当面は継続し、食堂およびパーテーションはすべて撤去した。【鎌取相談支援センター】4月28日付け国通知の発出以降、サービス支援における居宅等への訪問臨時的取り扱いの終了(千葉市通知)を受け、モニタリングなどは原則対面により実施している。



《長生拠点》

高木

コロナ感染予防対策により、外出行動を自粛し、飲食を伴う行事を縮小しておりましたが、少しずつ緩和して、元の生活に戻しつつあります。

グループホームぶらりでは、6月にバーベキューを行いました。お腹いっぱいお肉を食べて、密を避けつつ、おしゃべりする時間を持つことが出来ました。

ワークショップ茂原では、5月に春のレクリエーションとして、イオンモール幕張新都心に出かけました。みんなで、ショッピングやレストランでの食事を楽しみました。

長生地域生活支援センターでは、憩いの場を午前・午後に分けての利用としていましたが、終日通しての利用に戻しました。センターで昼食が取れるようになり、また、今まで中止としていた調理プログラムや外出プログラムを再開しています。

一緒においしい食事をとり、語り合う時間を持つこと、行きたい場所へ、みんなと出かけること、そんな当たり前の生活がやっと、取り戻せそうです。これから、一緒に楽しみましょう。



《本部拠点》

武藤

新型コロナウイルスの流行によりワナーホームでは感染予防対策のためにマスクの着用、消毒の徹底、利用者職員共に健康観察の実施、外出の自粛などを約3年間行ってきました。

日中活動系事業所では、分散通所による対応、居住系事業所では外出自粛による利用者の買い物代行等、地域の感染者数の動向を随時確認しながらの対応を行って来ました。

そして、2023年5月8日に新型コロナウイルスが5類へ移行されました。日中活動系事業所は、送迎車等の利用時にマスク着用のご協力をお願いしていますが、以前のようにプログラムや作業を実施し、事業所にも活気が出てきています。居住系事業所は、5月以降、外出、外泊面会等を少しずつ緩和しています。急に緩和することで感染リスクが高まることへの不安を抱える方もいるため、健康観察や消毒は徹底しています。また、外出範囲を少しずつ広げたり、外泊より帰所後は抗原検査キットを使用したりするなどの対応をしています。

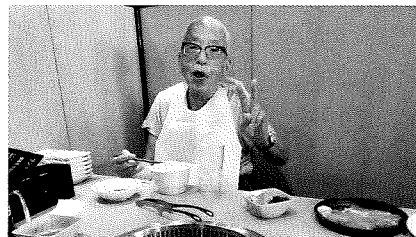
大きく生活が変わった約3年間の中で、法人行事が中止となってしまったり、外出レクが実施できなかつたりと利用者の余暇活動は大きな課題となっていましたが、5月以降は、各事業所で飲食や外出を伴う行事が実施されました。

ホレブデイサービスセンターは、お出かけツアーで「千葉市科学館」に行きました。久しぶりにマスクを外した集合写真を撮ることができました。

ワークショップしらすとは、「夏だ!流れていないそうめんをみんなで食べよう!」と、流すものは袋に入ったお菓子などを用意して感染予防を徹底し、夏らしくそうめんをみんなで食べました。

だいちは、「お肉を食べて元気になろう!」と焼肉バイキングに行きました。久しぶりの行事ということもあり、多くの利用者が参加し、たくさん食べてたくさん笑ったレクとなりました。

3年間という長い期間、みなさんにご協力いただき感染予防対策を行ってまいりました。これからは、安心した生活が一日も早く取り戻せるようにします。また、行事等でみなさまにお会いできる日を楽しみにしています。

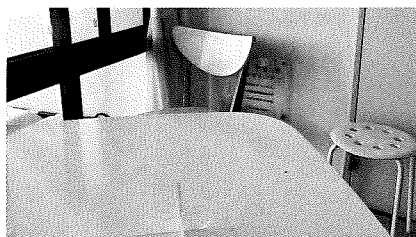


《柏拠点》

小助川

柏拠点は、5類変更以前と変わらず「基本的な感染対策を継続し、感染者を増やさない」という大前提のもと、感染対策を見直しました。一部を紹介します。通所事業所における利用者全員の検温と記録の廃止、同居家族に感染者が出ても、隔離対策が自宅で行われていれば利用者本人の通所は可能、作業場所のアルコール消毒を作業後の一回へ変更、グループホームエクラスでは、地域生活支援拠点を除く各グループホームにおいて、食事場所を自室からリビングに戻しました。地域活動支援センターでは、広いホールではパーティションを撤去し、中止していたカラオケや調理のプログラムを復活するなど、人との交流や余暇の機会が広がりました。

一方で、換気、食事時の黙食、室内や密集した場所でのマスク着用のお願いを引き続きしています。重症化リスクがある方も利用している施設として、施設利用の皆様には、ご理解とご協力を呼び掛けています。利用者の健康と生活の楽しみ、二つを両立して運営していきます。



カトレア会便り

会長 日野 大華

皆様、こんにちは。いかがが
過ごしてでしょうか。

五月、定時総会の頃は新型コ
ロナウイルスも緩和となりまし
たが感染防止のため今年も役員
会はオンライン会議とし、総会
は今年度も書面表決での開催と
いう判断を致しました。議案に
つきましては原案通り全てに承
認をいただき、ありがとうございます
ました。

新型コロナウイルスも五類と
なりましたので、今年はいよいよ
よカトレア会の皆様で集まりた
いと思います。

研修会は九月十七日(日)十
時よりワーナーホームにて開催
致します。内容は、「施設やグ
ループホームでのコロナ禍の生
活」や、「親亡き後の生活」に
ついてをテーマとして行いま
す。久しぶりに皆様と顔を合わ
せ、皆様が今抱えている悩みな
どを共有し語り合える会にした
いと思っております。皆様、お
忙しいとは思いますがぜひとも
ご参加いただければ幸いです。

【役員代表の声】

・コロナ禍の中で不安に思った
ことは、「私にもしものこと
があったとき、当事者はどう

なるのか」といつも頭をよ
ぎっていました。九月の研修
会では職員の方からお話をう
かがって心構えや備えておく
ことは何か、利用できる社会
保障など学びたいことがたく
さんあります。ご一緒に考え
合う中で良い方策が得られた
らと期待して参加します。

・私の息子は水中毒、腸閉塞等
で入院が続きました。障害年
金や生活保護の受給など親亡
き後が本当に心配です。九月
の研修会では皆様との討論の
中から今後に備えていきたい
と思います。ぜひ多くの方の
ご参加をいただき充実した研
修会にと願っております。

・私が初めてワーナーホームの
見学に行った時、職員の方は
これまでの苦労や病気の経緯
を真剣に聞いてくださいまし
た。私はその姿になんて誠実
なのだろうと家族の未来に希
望を持ちました。現在もワー
ナーホームの職員の皆さんに
お世話になつております。研
修会を楽しみにしています。

先人の言葉に「冬は必ず春と
なる」とあります。家族の病氣

で悩む苦しい冬も忍耐強く努力
していけば必ず希望溢れる春が
来るという意味です。私達カト
レア会は、家族が病気で苦しん
でいる時こそ励まし合い、希望
溢れる春を信じて仲良く活動を
してまいります。九月十七
日、皆様にお会いできることを
心から楽しみにしております！

カトレア会(家族会) 入会のご案内

カトレア会は、社会福祉法
人ワーナーホームの家族会で、
「◎精神障害者の親の悩みは
切実なものであり、同じ悩み
を持つ者が、慰め合える機会
が欲しい◎社会復帰を目指す
利用者に対し側面的な協力も
考えていかなければならな
い」(立ち上げ当初の案内文
より抜粋)という目的で平成
元年にご家族の有志によつて
立ち上がりました。

家族同士の顔が見える関係、
同じ悩みを共有できる機会と
なっています。また利用者が
安心して過ごせることを見守
り続ける役割もあります。

皆様のご入会をお待ちして
おります。
(武藤)

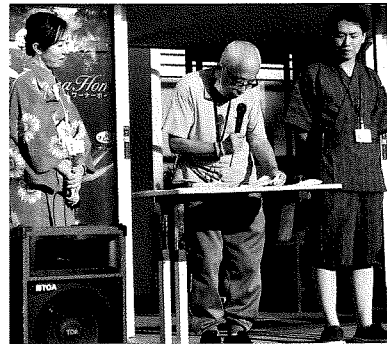
本部拠点 四年ぶりの納涼祭

「復活祭」

二〇二〇年度より、毎年夏
に実施していた納涼祭が新型
コロナウイルス感染症拡大に
より、中止になっていました
が、今年度、四年ぶりに納涼
祭を開催することができまし
た。

コロナ禍により自粛生活が
続き、行事を楽しむことがで
きませんでした。そのため、
お祭りを楽しんで欲しいとの
思いで、テーマを、「復活祭」
〜四年ぶりの納涼祭、みんな
で楽しもう〜と決めました。

コロナ禍前の納涼祭は、地
域交流を兼ねて近隣の方など
も参加していますが、今年度
は、感染防止として利用者と
家族、職員のみで小規模での
実施となりました。開催の規
模は小さくなりました。開催の準
備を進めたり、暑い夏空の下
での会場設営や草刈りをする
など懐かしい光景を見ることが
できました。当日は、浴衣
や甚平に着替え、盆踊り、模
擬店、抽選会を楽しみました。
参加している方の笑顔がとて
も印象に残り、とても楽しい
納涼祭でした。
(野老順)



素敵な休日
Wana 1
 野老バージョン

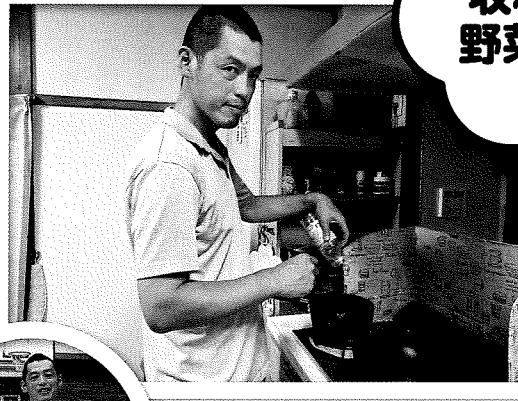


本部拠点
 本部
 事務課長

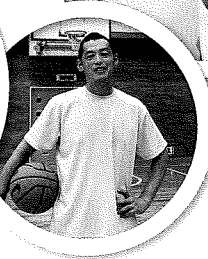
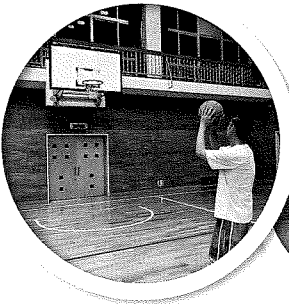
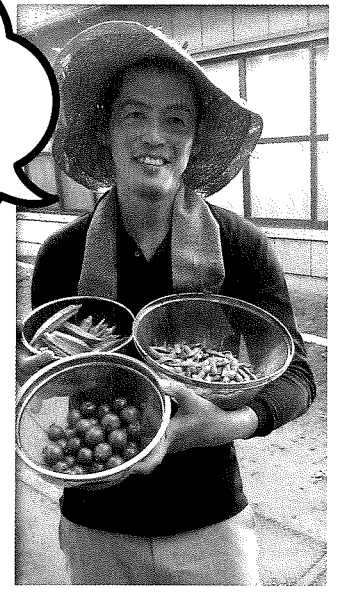
野老 正樹

● ● 休日の過ごし方 ● ●

7:00	起床
8:30	活動開始(地区の活動、消防団、家庭菜園等)
18:00	夕食
19:00~21:00	バスケット
22:00	晩酌(そのまま寝落ち…)



収穫した
 野菜です!



休日でもやりたいこと、やらなきゃいけないことがたくさんあるので、起床時間は変わらない。今年度は中学校のPTA会長(これは学校以外の会議等にも多数招待される)、地元自治会の班長となり、それに加えて、以前から消防団員、青少年相談員にも任命されている。たまに「好きだね」と言う人がいるけれど、決して自ら申し出ていくわけではなく、できる範囲で協力してあげたいなと思っただけである。

その他にも最近、家庭菜園をするようになった。元々農家なので、道具や畑が家にあり、それが放置されていたことが、もったいないなと思ったことがきっかけ。趣味だから、手間を掛けるのも、抜くのも自分しだいのだが、結果的にあまり手を掛けてあげられなかった野菜が、それなりに収穫できたりすると、植物つてすごいなと思う。今年はおくら、枝豆、里芋、生姜、サツマイモ等に挑戦中。

夜は七時から九時迄バスケットに行く。だいぶ走れなくなっているが、息子達に負けないように続けていきたい。しつかり汗を流した後は、晩酌し、ソファの下で寝落ちする。そんな素敵な休日でした。

ワナーホームの主な動き

《五月》

- ・城西国際大学学生交流会 (城西国際大学) / ホレブ デイサービスセンター
- ・春レク / ワークシヨップおおもみ
- ・春レク (イオンモール幕張新都心) / ワークシヨップ茂原
- ・わたげ合同食戟 (しよくげき) / たんぼぼセンター 地域活動支援センター
- ・柏餅づくり / たんぼぼセンター 地域活動支援センター
- ・いちご食べ放題ツアー (Ken's Garden) / わたげワークス
- ・ユニモちはら台に行こう (ユニモちはら台) / 長生地域生活支援センター
- ・春レクいちご狩り / ワークシヨップしらさと

《六月》

- ・お出かけツアー (白里海岸・海の駅 九十九里) / ホレブ デイサービスセンター
- ・ゲーム (頭の体操) / たんぼぼセンター 地域活動支援センター
- ・バーベキュー会 / ぶらり
- ・ピアサポート交流会 / 山武ブリオ
- ・室内スポーツを楽しむ (茂原小学校体育館) / 長生地域生活支援センター

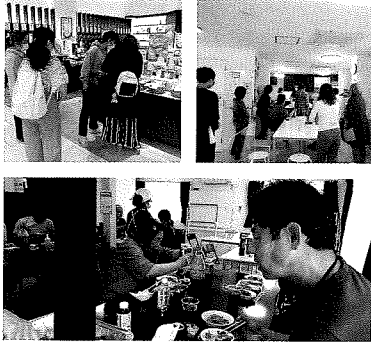
《七月》

- ・焼肉バイキング (焼肉きんぐ) / だいち
- ・お出かけツアー (千葉市科学館 プラネタリウム Qiball (きぼーる) 内) / ホレブ デイサービスセンター
- ・夏レク / ワークシヨップおおもみ
- ・琥珀糖づくり / たんぼぼセンター 地域活動支援センター
- ・資生堂ビューティーアップ講座 / わたげワークス
- ・夏レク / ワークシヨップしらさと

《八月》

- ・お茶会 (ホレブ食堂 / 生活介護棟) / ホレブ デイサービスセンター
- ・わくわく飯会 夏祭りメニューバー ジョン / たんぼぼセンター 地域活動支援センター
- ・外出カラオケ / たんぼぼセンター 地域活動支援センター

- ・かき氷の会 (北柏ルミエール) / たんぼぼセンター 地域活動支援センター
- ・海ほたるに行こう (海ほたる) / 長生地域生活支援センター



編集後記

コロナが五類に変更となり、色々出来る事が増えてきているのではないのでしょうか？
 この地域でも花火大会が開催され、私も久しぶりに花火を見に行く事が出来ました。
 イキシアも、見て・読んで楽しめる情報を発信していきますので、よろしくお願います。(M)

発行所 **ワナーホーム
イキシア会**

千葉県大網白里市細草3215

電話 0475-77-2100(代)

URL <http://www.wanahome.or.jp>

発行人 寺田 一郎